

「おおいたの道構想2024（素案）」に対する県民意見の募集の結果について

令和7年2月7日

大分県土木建築部道路建設課

令和6年12月23日から令和7年1月27日までの間、県民の皆様から募集した「おおいたの道構想2024（素案）」についてのご意見の概要、ご意見に対する県の考え方を取りまとめましたので公表します。

なお、2人の県民の皆様から延べ11件の貴重なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

番号	ご意見の概要	県の考え方
1	昨今は各自治体で進出企業の誘致合戦の様相を呈しております。企業がどこかに進出する場合には当然、土地・道路アクセスの情報が最重要となります。また、近年活況である半導体・物流関係事業者は、かなり速いスピードで、土地照会・進出判断を行っております。そういった状況を踏まえ、道路行政所管に置かれてはなるべく早い情報展開及び進出企業からの問い合わせには、できうる限り情報をオープンに頂くことを期待します。	県では、「豊の国ちやくちやくプロジェクト（豊ちやく）」により道路事業の進捗状況や開通目標を毎年公表するなど、道路整備に関する情報の公表に努めており、今後も引き続き取り組んでまいります。
2	豊後伊予連絡道路について、国や愛媛県等と協力し、陸上部分から建設を始めるべきだと考えています。保内IC－三崎港（愛媛県）と大分宮河内JCT（仮称）－佐賀関港（大分県）の自動車専用道路の建設を早期に始め、機を見て海峡部も建設するのが良いと思います。大分宮河内JCT－佐賀関港間に大分佐野IC（仮称）・大分東IC（仮称）・大分幸崎IC（仮称）を設置するのがよいと思います。	豊後伊予連絡道路については、ICの設置箇所を含め、ルートや構造などは決まっておらず、まずは県民の理解促進や関係県などとの連携による機運醸成などに取り組むとともに、調査検討を進めてまいります。
3	中九州横断道路宮河内－犬飼間について、早期実現をすることで国道10号線の交通量減少が期待でき、主要渋滞箇所の解消につながると思います。また、犬飼バイパスを維持し、別線で中九州道を建設することが望ましいです。吉野ICは県道25号臼杵上戸次線の現道改良または線形の良い市道に設置が望ましいと思います。	中九州横断道路の大分～犬飼間については、国土交通省による計画段階評価の手続きを経て、別線整備案（山側ルート）及び中間ICの設置が決まっています。現在、同省が事業化に向けた手続きを進めているところであり、県としても、早期事業化・工事着手に向けた取り組みを推進します。なお、中間ICの接続道路などの本路線の具体的な計画に関することについては、関係機関と調整を進めてまいります。

4	<p>東九州自動車道大分宮河内 IC－臼杵 IC 間に新たな IC である臼杵北 IC の設置を求めます。臼杵北 IC を臼杵市久木小野地区に ETC 専用として設置することで、県道 21 号の山越え区間のバイパスとなり、大分市中心部－大分宮河内 IC－臼杵北 IC－臼杵市中心部というアクセスが可能となります。すると、臼杵市内の 30 キロ規制区間（中須賀橋東交差点－土橋交差点）の交通量減少に寄与でき、主要渋滞箇所の解消にも寄与できると思います。また、津久見佐伯宮崎方面と大分吉野とのアクセス向上も期待できます。上記の吉野 IC とのアクセスも向上でき大分宮河内 JCT に行くことなく、竹田－犬飼－吉野 IC－臼杵北 IC－津久見－佐伯の交通ができるようになります。臼杵北 IC アクセス線として、県道 206 号線臼杵大南線の線形改良と完全 2 車線化を求めます。また、県道 637 号線吉野原犬飼線との交差点に信号を設置し、梅が丘方面への延伸を求めます。そうすることで、アクセスの向上はもとより、県道 25 号の辻－杉原の交通公害等が減少すると思われま。</p>	<p>新たな IC の設置については、十分な利用者数の見込みや採算性などを満足する必要があり、周辺の道路整備を含め、現時点では難しいと考えています。臼杵市中心部の渋滞対策については、現在行っている道路事業の効果なども踏まえ、今後の対応方針を検討してまいります。</p>
5	<p>大分県道 21 号の末広橋先交差点－大分県道 206 号交差点間（特に久保田橋－大分県道 206 号交差点）の路面が非常に悪くなっているので、路面整備を求めます。</p>	<p>路面補修については、交通量や路面の損傷度合等を総合的に勘案して、順次対策に取り組んでいるところです。ご要望の箇所についても、優先順位を踏まえながら対応を検討してまいります。</p>
6	<p>久保田橋の架け替えを求めます。久保田橋付近の線形が非常に悪いので、緩やかなカーブとなるように改良を求めます。</p>	<p>道路改良については、渋滞や交通事故の発生状況、通学路における歩道の有無などを踏まえ、多くの課題を有する箇所から優先的に取り組んでいるところです。ご要望の箇所については、ご意見として承ります。</p>
7	<p>末広橋先交差点の県道 21 号上りに左折専用レーンを設置し、国道 217 号上りの右折レーンの拡張を求めます。県道 21 号の臼杵市街から国道 217 号に入る左折車が多いので、左折専用レーンを設置することで、より効率的な交通となり傷病者をより迅速に搬送することも可能になると思います。国道 217 号から右折し県道 21 号に入り市街に向かう車が多いので、右折レーンの距離を長くすることで、右折車で直進できないということもなくなると思います。</p>	<p>交差点の対策については、主要渋滞箇所を中心に、渋滞や交通事故の発生状況などを踏まえ、多くの課題を有する箇所から優先的に取り組んでいるところです。ご要望の箇所については、ご意見として承ります。</p>

8	<p>大分自動車道について、土砂災害や冬の規制が多いように思います。そこで、大分 IC—大分光吉 IC 間に大分 JCT（仮称）を設置し、大分 JCT—大分植田 IC（仮称）—由布狭間 IC（仮称）—由布 IC（仮称）—湯布院 JCT（仮称）とすることで、大分市—由布市のアクセスの向上、主要渋滞箇所の解消、大分市—鳥栖 JCT の速達化にもつながると思います。また、現状の大分道にロードヒーティング等の設置、壁面強化等を行い、災害に強い道路にすることが必要であると思います。</p>	<p>広域的な道路ネットワークを構成する大分自動車道など高規格道路の計画については、「大分県新広域道路交通計画」において定めており、本計画に基づき、関係機関と連携して高規格道路の整備を推進してまいります。なお、大分自動車道へのロードヒーティングの設置などのご意見につきましては、当該道路の管理者である NEXCO 西日本にお伝えいたします。</p>
9	<p>台風 10 号により東九州道臼杵 IC—津久見 IC 間が通行止めになった際に国道 217 号をはじめ、多くの交通渋滞が発生しました。その際は大分—佐伯は国道 10 号に迂回するようアナウンスするなど関係各所の尽力により、ある程度の緩和がなされたものと考えています。交通渋滞の原因の一つとして、大型自動車に離合できるような臼杵津久見間の道が不足しているからではないかと思えます。現状、東九州道・国道 217 号があります。もう 1 本必要だと思えます。そこで、県道 204 号津久見野津線 217 号交差点—県道 633 号交差点間の現道改良・バイパス化を求めます。臼杵津久見間の東九州道と国道 217 号は並行しており、一度の災害でどちらとも通行止めになるリスクを抱えています。ルートの異なる県道 204 号を大型自動車に離合できるような道にすれば、通行止めの際の迂回路になることが期待できます。また、津久見—野津間、津久見—国道 10 号間のアクセスも向上すると思えます。</p>	<p>高速道路が 4 車線化されている場合、道路が被災しても両側 2 車線分の道路幅を利用することで通行止めを防ぐことが出来るなど、災害に強い道路ネットワーク機能が確保されます。今回、災害があった箇所を含む東九州自動車道の暫定 2 車線区間については、NEXCO 西日本が 4 車線化に向けた事業を進めており、県としても、今回の通行止めに関する件を踏まえ、引き続き早期 4 車線化の完成に向けた取り組みを推進してまいります。津久見野津線の抜本的な改良については、大規模な整備となることが想定され、現時点では難しいと考えていますが、ご意見として承ります。</p>
10	<p>国道 10 号線中村交差点・大南大橋先交差点の下り線に左折専用レーンを設置するのが望ましいです。この 2 つの交差点は左折車と直進車が混在する交差点となっており、より効率的な交通を目指す上で左折専用レーンの導入が必要であると思えます。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、当該道路の管理者である国土交通省にお伝えいたします。</p>
11	<p>県道 25 号臼杵戸次線と市道中戸次吉野線の交差点について、実際の交通量と交差点の形状が一致していません。県道臼杵方面から市道に進入する自動車（右折）が多く、市道から県道臼杵方面に進入する自動車（一時停止）が多いです。そこで、実際の交通量に合わせて交差点を改良するとよいと思えます。</p>	<p>交差点の対策については、主要渋滞箇所を中心に、渋滞や交通事故の発生状況などを踏まえ、多くの課題を有する箇所から優先的に推進してまいります。ご要望の箇所については、ご意見として承ります。</p>